

3 昭和49年度漁況海況予報事業

昭和47年度からの継続実施事業である。調査の目的、内容は昭和49年度漁況海況予報事業調査指針水産庁に準拠している。海洋観測、産卵調産結果の詳細な報告は“昭和49年度漁況予報事業結果報告書”として別冊で行うためここでは概要に止める。

実施概要

1 沖合定線調査 定線名：久米島北西沖合定線

航次	調査年月日	船名	測点数	調査員	備考
1	S 49. 5. 8～ 5.10	凶南丸	12	喜屋武	補助点 11点
2	S 49. 7.23～ 7.26	〃	〃	喜屋武、吉川	〃 〃
3	S 49.10.15～10.18	〃	〃	友利	〃 〃
4	S 49.12. 9～12.12	〃	11	友利、金城	〃 9点
5	S 49. 3. 6～ 3. 8	〃	12	喜屋武、吉川	〃 11点

2 沿岸定線調査 定線名：沖繩南部沿岸定線、金武湾沿岸定線

航次	調査年月日	船名	測点数	調査員	調査定線
1	S 49. 4.24	くろしお	10	川崎、吉川	沖繩南部
2	S 49. 5.10～ 5.11	凶南丸	10	喜屋武	〃
3	S 49. 5.29	くろしお	8	友利	金武湾
4	S 49. 7.26	凶南丸	10	喜屋武、吉川	沖繩南部
5	S 49. 9.19～ 9.20	くろしお	8	〃 〃	金武湾
6	S 49.10.18	凶南丸	10	友利	沖繩南部
7	S 49.10.30～10.31	くろしお	8	金城	金武湾
8	S 49.11.20～11.21	くろしお	8	吉川、喜屋武	〃
9	S 49.12.12～12.13	凶南丸	10	金城、友利	沖繩南部
10	S 50. 1.24～ 1.25	くろしお	10	喜屋武、吉川	〃
11	S 50. 2. 5～ 2. 6	くろしお	8	吉川、川崎	金武湾

〔結果〕

沖繩北西海域の黒潮は大陸棚斜面に沿って約30俵の巾でNE～NNEへ流去し、流軸の東西～の変動巾は年間として小さく、久米島沖合で30俵位、伊江島北西沖合で20俵位であった。

黒潮流域の表層は前年比高温高カンに経過し、150～200m層は低目に経過した。

沿岸水温は那覇では前年比1月～6月に低目、6月～12月高目に、平年比1月～6月平年並6月～12月高目に経過した。

(文責 友利昭之助)